



# 気になるあの人に チューモク!! 4

## 箱根ランナーを経て、実業団での躍進を誓う

たきばた ゆうき 多喜端 夕貴さん(財田町出身・22歳)



2月26日、母校の和光中学校の講演会に講師として招かれた多喜端さん

毎年1月2〜3日に大学生ランナーが激走することでおなじみの箱根駅伝。財田町出身の多喜端夕貴さんは、3年連続で出場した上、最終学年として臨んだ今年は、トップでたすきを受けた3区で力走を見せました。

**努力を重ね 大きな目標を次々と達成**



▲講演会では後輩に向けて、夢を叶えた過程で学んだ経験談を話しました

力を付け、全国大会への出場を達成します。そこで「駅伝で勝つ喜び」を感じた多喜端さんは、尽誠学園高校に進み、本格的に長距離に取り組みました。そのときに抱いた夢が「箱根駅伝に出場したい」ということ。「トップレベルの選手はどんな景色を見て走っているのだろう」と思い、まずは箱根駅伝に出場できる関東の大学に進むために、練習も勉強も真剣に打ち込みました。そうした努力の末、国士舘大学進学への道を掴むと、2年生のときに初めての箱根駅伝出場を果たします。「出場が決まった瞬間は、



▲陸上部やバスケ部の生徒たちとランニング。フォームの指導もしました

涙が出るほどうれしく、一生忘れられないものとなりました。その後は仲間のおかげで、遠い目標だった箱根駅伝に3年続けて出場することができました。夢を叶えるためには、それまでのプロセスと周りの人の協力があったからこそだと実感しています」

夢を実現した多喜端さんは、春から実業団のNTN陸上競技部に所属します。将来は、「得意な3,000メートル障害で日本代表をめざしたい」と、新たな目標の設定も元旦のニューイヤーズ駅伝での活躍も期待されます。今後も一つひとつ、夢を叶えていく姿を応援したいですね。

**待** ちに待った春がやってきました。平成も、残すところあと1ヵ月。そんな歴史的なこの春、卒業や入学、就職など、人生の節目を迎えられた皆さん、おめでとうございませう。

今月は平成最後の4月号。三豊の平成に思いを馳せた人は、ぜひ文書館へ。4月25日まで、30年にわたる平成時代の旧町と市の歴史を公文書や写真で振り返れる企画展を開催中です。



**季節のお便り募集**  
住所、氏名(ペンネーム)、電話番号を明記の上、写真や文章を添えて秘書課へ郵送またはメール(hisho@city.mitoyo.lg.jp)でお送りください。  
▶問い合わせ 秘書課 ☎73-3001



**季節のお便り**  
暮らしのエピソードや風景写真、広報の感想を募集

帰省したときに写した朝もやにけける山々の写真です。(関東・三豊市ふるさと会会員 前田照子さん)